

令和3年度 中小企業の振興に関する施策の実施状況

令和5年3月

岩手県商工労働観光部

1 公表の考え方

- ・ 中小企業振興条例の規定に基づき、知事は毎年度、中小企業の振興に関する施策の実施状況を公表することとしています。

○中小企業振興条例

(施策の実施状況の公表)

第13条 知事は、毎年度、中小企業の振興に関する施策の実施状況を公表するものとする。

- ・ また、平成31年3月に策定された「岩手県中小企業振興第2期基本計画」(以下「基本計画」という。)においても、毎年度、前年度の実施状況を取りまとめ、県ホームページを通じて公表することとしています。
- ・ 今回の公表対象期間である令和3年度は、基本計画の期間(令和元年度～4年度)の3年度目となります。
- ・ 中小企業の振興に関する施策の実施状況として、令和3年度に実施した事業を、基本計画が定めている「推進する施策」ごとに分類し、取りまとめる形で記載しています。

2 岩手県中小企業振興第2期基本計画の構成

- ・ 基本計画は、「計画の基本的な考え方」、「本県の中小企業・小規模企業者の現状と課題」、「目指す姿及び推進する施策」、「計画推進に向けて」の4章により構成されています。
- ・ この基本計画では、計画に基づく施策の実施を通じて企業の目指す姿を次のとおり位置づけ、これらの達成度をはかるための指標(目指す姿指標)を設定しています。

<目指す姿>

～県民が潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる社会の実現を目指して～

【目指す姿①】企業の魅力向上

- 県内の中小企業が、付加価値の高い商品やサービスをつくり出すことにより、企業としての魅力を高めています。

【目指す姿②】働きやすい環境

- 県内の中小企業が、働きやすい環境を整備し、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を提供しています。

【目指す姿③】利用の促進

- 県民をはじめ、県外の消費者にも県内中小企業が提供する商品やサービスについての共感が得られ、利用が進んでいます。

これらの取組により県内中小企業の事業活動が活発に展開され、資金、商品・サービス、人材・雇用、資源、エネルギー、情報など、地域の経済を地域で回すことにより、持続可能で活力ある循環型の地域経済の振興が図られています。

- ・ また、基本計画では、目標達成に向け**10の施策項目**を進めることとし、その達成度をはかるため**施策項目ごとに指標**を設定しています。

さらに、これらの施策を具体的に実施するため、施策項目ごとに構成事業を定めています。

【岩手県中小企業振興第2期基本計画の構成（イメージ図）】

第1章 計画の基本的な考え方

- 計画の位置付け・性格、計画期間 **令和元年度⇒4年度**、計画の構成

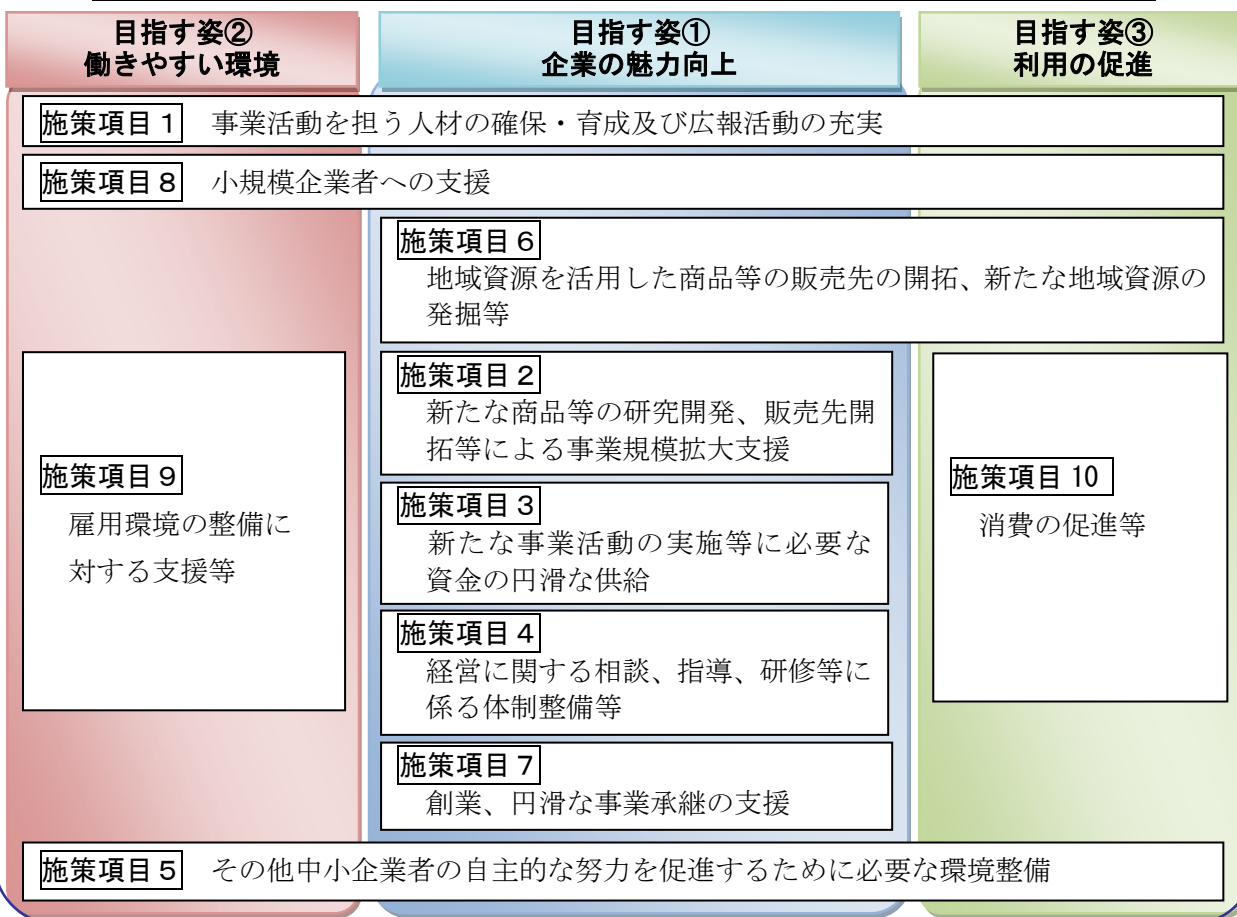
第2章 本県の中小企業・小規模企業者の現状

- 中小企業者を取り巻く状況（経済の状況、東日本大震災津波による被害状況、人口展望）
- 本県の状況（企業数の推移、開業率・廃業率、県内総生産の推移、製造品出荷額の推移等）
- 前計画における中小企業・小規模企業者施策の主な実施内容

第3章 目指す姿及び推進する施策

目指す姿①：企業の魅力向上 **目指す姿②：働きやすい環境** **目指す姿③：利用の促進**

⇒ **目指す姿①・②・③の好循環により持続可能で活力ある地域経済の振興**



第4章 計画推進に向けて

- 推進体制（行政に加え産業支援機関（※）、大学や試験研究機関、国等とも適切に連携）
- 市町村との連携（各市町村の中小企業振興施策と連携）
- 施策の実施状況の公表と計画の見直し（実施状況について、毎年度取りまとめ公表） 等

※ 産業支援機関

本計画の実施を支援する、岩手県商工会議所連合会、各商工会議所、岩手県商工会連合会、各商工会、岩手県中小企業団体中央会、（公財）いわて産業振興センター、岩手県中小企業家同友会、県内金融機関等の総称。

3 令和3年度中小企業振興に関する施策の概要

- ・ 中小企業振興に関する施策を推進するため、令和3年度は **144 事業**を実施し、決算額は計 **61,456,791 千円**となりました。
- ・ 岩手県中小企業振興第2期基本計画策定時に基準とした平成29年度（120 事業実施、決算額 計 124,478,073 千円）と比較すると、63,021,282 千円の減となりました。この主な要因は、県制度による設備資金などの需要が、東日本大震災津波からの復興が進展したことなどにより減ったためです。
- ・ 令和3年度に実施した144 事業を、基本計画の施策項目ごとに分類すると、以下の表のとおりとなります。

【施策項目ごとの事業数・決算額内訳】

施策項目	事業数	令和3年度 決算額（千円）
(1) 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実	10 (35)	74,056 (2,845,718)
(2) 新たな商品・役務の開発、研究成果の事業化、新たな販売先の開拓等による事業規模の拡大等の支援	9 (26)	268,538 (1,746,904)
(3) 新たな事業活動の実施等に必要な資金の円滑な供給	5 (6)	16,972,124 (52,644,864)
(4) 経営に関する相談、指導、研修等に係る体制整備等	2 (13)	15,564 (3,211,362)
(5) その他中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備	22 (51)	38,676,933 (112,912,031)
(6) 地域資源を活用した商品・役務の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等	31 (44)	1,363,640 (1,568,498)
(7) 創業、円滑な事業承継の支援	7 (19)	1,145,911 (4,097,600)
(8) 小規模企業者への支援	2 (35)	1,322,868 (58,186,167)
(9) 雇用環境の整備に対する支援等	23 (31)	894,884 (1,074,505)
(10) 消費の促進等	21 (30)	673,504 (867,636)
その他広域振興圏における主な取組	12 (13)	48,769 (53,157)
合計	144 (303)	61,456,791 (239,208,442)

※ 上記（ ）内の数値は、複数の施策項目に再掲事業として掲載しているものを全て合計したもの

- ・ 個別事業の実施状況については、「令和3年度 中小企業の振興に関する施策の実施状況一覧表」のとおりです。

【参考】達成度の判定について

達成度については、政策評価レポート2022の記載に基づき、目標値に対する達成率(%)に応じて下表のとおり判定しています。

目標達成率	100%以上	80%以上100%未満	60%以上80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

[目標達成率の計算式]

- ① 通常の指標 (H29 現状値から数値を上げる目標の場合)
 $(R3 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値}) / (R3 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値}) \times 100$
- ② 維持指標等 (H29 現状値を維持する目標等)
 $(R3 \text{ 実績値}) / (R3 \text{ 目標値等}) \times 100$
- ③ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、①・②の計算式により難しい場合
 $(R3 \text{ 実績値}) / (R3 \text{ 目標値}) \times 100$

(「①」等の標記は、当該年度以外の実績・目標値を示す。)

4 令和3年度における目指す姿指標及び施策項目ごとの指標の達成状況

岩手県中小企業振興第2期基本計画では、計画に定める3つの目指す姿(①企業の魅力向上、②働きやすい環境、③利用の促進)の実現に向けた達成度をはかるため、4つの目指す姿指標と、125の個別施策の指標を設定しています。

(1) 令和3年度の各指標の達成度

評価	令和3年度	(参考) 令和2年度
達成【A】	84 指標	56 指標
概ね達成【B】	15 指標	21 指標
やや遅れ【C】	7 指標	12 指標
遅れ【D】	14 指標	29 指標

※達成【A】と概ね達成【B】の合計の割合は82.5%(令和2年度:65.3%)となりました。

(2) 令和3年度の各指標の見直し

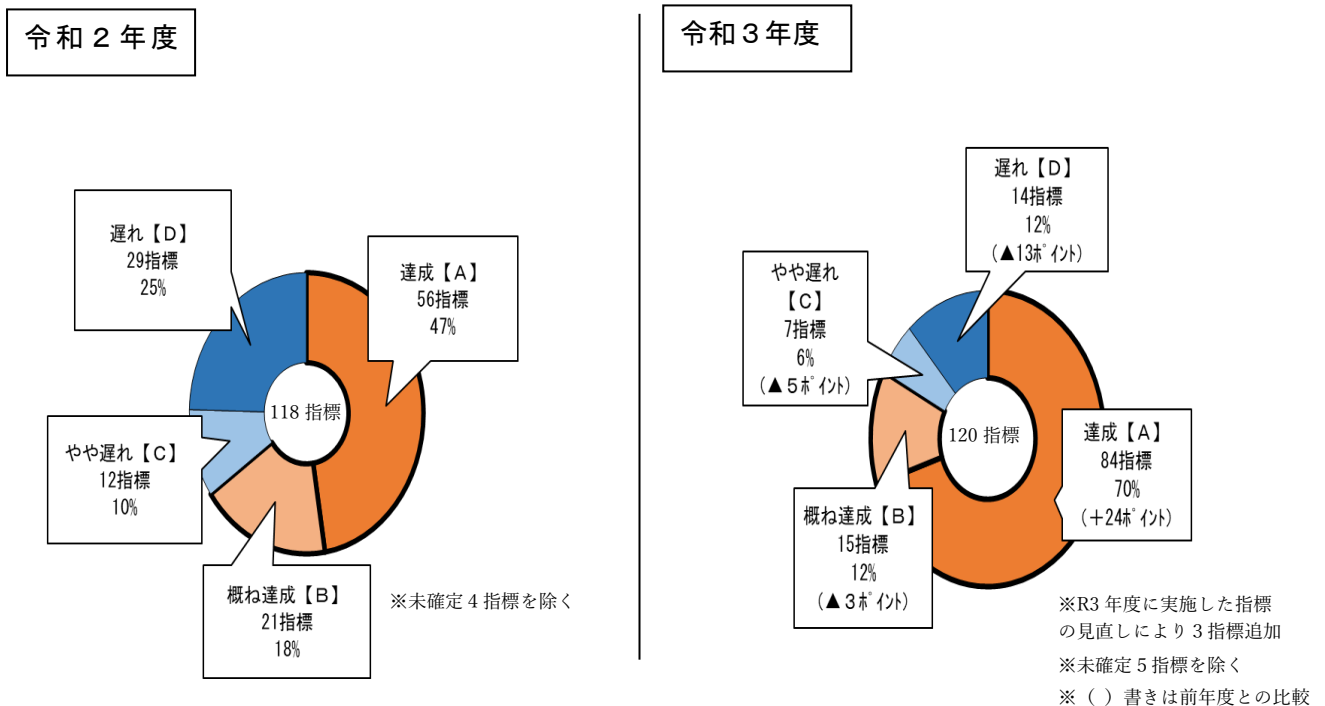
令和3年度に、以下のとおり62指標を見直しました。

見直し内容	見直し指標	備考
上方修正	18 指標	
下方修正	27 指標	
維持	11 指標	R3のみ下方修正、R4は継続
その他	6 指標	置き換え3指標、新規3指標
合計	62 指標	

(3) 総論

- 令和2年度が新型コロナウイルス感染症の影響により、初の緊急事態宣言を発出するなど、指標の達成に向けた各種取組を中止、縮小又は延期した年度であったことに比べ、令和3年度は徐々に取組を再開していきました。
- 一方、新型コロナウイルスの影響は完全にはなくなっておらず、それぞれの指標を所管する各室課等では、**計画していた取組ができない場合**であっても、例えば、例年、対面で行っていたセミナーや説明会に代えて、オンライン開催とした取組（P10、P36ほか）等、工夫を凝らしながら**代替の取組を実施**しています。
- このことから、令和3年度の各指標の達成状況の測定に当たっては、計画策定時に設定した指標による測定のほか、**達成度が、やや遅れ【C】又は遅れ【D】となった指標については、今後の取組方向の記載欄に、代替で実施した取組についても記載**しております。

【参考】令和2年度と令和3年度の達成度の比較



達成度	達成【A】 100%以上		概ね達成【B】 80%以上100%未満		やや遅れ【C】 60%以上80%未満		遅れ【D】 60%未満		計	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
中小企業振興基本計画（A+B）	56 47%	84 68%	21 18%	18 15%	12 10%	7 6%	29 25%	15 12%	118 100%	124 100%
目指す姿指標（A）	0 0%	0 0%	3 75%	3 75%	0 0%	0 0%	1 25%	1 25%	4 100%	4 100%
施策項目（B）	56 49%	84 70%	18 16%	15 13%	12 11%	7 6%	28 25%	14 12%	114 100%	120 100%
1 事業活動を担う人材の確保・育成 及び広報活動の充実	9 60%	9 69%	2 13%	0 0%	1 7%	0 0%	3 20%	4 31%	15 100%	13 100%
2 新たな商品等の研究開発、販売先 開拓等による事業規模拡大支援	11 73%	10 71%	2 13%	3 21%	1 7%	0 0%	1 7%	1 7%	15 100%	14 100%
3 新たな事業活動の実施等に必要な 資金の円滑な供給	0 0%	1 50%	2 100%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 100%	2 100%
4 経営に関する相談、指導、研修等に 係る体制整備等	3 100%	3 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	3 100%	3 100%
5 その他中小企業者の自主的な努力を 促進するために必要な環境整備	8 80%	10 77%	2 20%	2 15%	0 0%	0 0%	0 0%	1 8%	10 100%	13 100%
6 地域資源を活用した商品等の販売先の 開拓、新たな地域資源の発掘等	10 43%	15 65%	4 17%	3 13%	2 9%	1 4%	7 30%	4 17%	23 100%	23 100%
7 創業、円滑な事業承継の支援	3 38%	6 75%	0 0%	1 13%	2 25%	1 13%	3 38%	0 0%	8 100%	8 100%
8 小規模企業者への支援	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
9 雇用環境の整備に対する支援等	6 40%	11 55%	4 27%	3 15%	2 13%	3 15%	3 20%	3 15%	15 100%	20 100%
10 消費の促進等	6 26%	19 79%	2 9%	2 8%	4 17%	2 8%	11 48%	1 4%	23 100%	24 100%

5 目指す姿指標の達成状況

【目指す姿①】 企業の魅力向上

(指標) 従業者一人当たりの付加価値額 (千円)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②5, 983	②6, 103	②5, 717	遅れ【D】 (60%未満)	③6, 164

- 従業者一人当たりの付加価値額は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う支援策等により、昨年度よりも回復傾向となっておりますが、観光関連産業を始めとする様々な業種における消費の落ち込み等が継続していることから、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

- ・これまでもにおいても新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者に対して新規の融資制度の創設による切れ目のない金融支援、いわての食応援プロジェクト等による消費喚起策を行ってきたところではありますが、引き続き、事業者の事業継続、売上の回復等を支援していきます。
- ・新型コロナウイルス感染症に加え、原油高・諸物価の高騰の影響の長期化により、新しい生活様式に対応した業態転換等を促進するため、経営革新計画の策定や事業再構築を見据えた事業計画策定等を商工指導団体と連携し、伴走的に支援することにより、売上の回復を図ります。

【目指す姿②】 働きやすい環境

(指標) 総実労働時間 [年間] (時間)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1, 858. 8	1, 748. 4	1, 761. 6	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1, 720. 8

(指標) 高卒者の県内就職率 (%)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
65. 8	84. 5	74. 1	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	84. 5

【目指す姿③】 利用の促進

(指標) 県の官公需契約件数に占める中小企業との契約件数の割合 (%)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
89. 1	91. 0	87. 4	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	91. 5

6 施策項目ごとの指標の達成状況

施策項目1 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実

【推進した施策】

- ものづくり産業人材の育成・確保・定着
- 建設業の将来を担う人材の確保、育成
- 情報通信技術（ICT）人材の育成
- 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成
- 地域産業の国際化に貢献する人材の育成
- キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成
- 高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組の推進
- 地域をけん引する人材育成と若者定着の促進
- 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援
- 売れる観光地をつくる体制の整備促進
- 若者の活躍支援

【主な取組状況】

■ものづくり産業人材の育成・確保・定着

- ・地域ものづくりネットワーク等による小中学生を対象とした工場見学や出前授業、工業高校生を対象とした実技講習会、高等教育機関等との連携による高度技術人材の育成、企業人を対象とした勉強会等、各ステージに応じたものづくり人材育成を進めています。
- ・高校の生徒、教員及び保護者や大学生等を対象とした工場見学、県内外の大学生等への企業情報の提供や企業説明会等により、県内定着及びU・Iターンの促進に取り組んでいます。

計画における指標

地域ものづくりネットワーク（※）等と連携した工場見学への参加高校生数（人）（延べ）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値（R4）
1,879	1,900	2,525	達成【A】 (100%以上)	1,900

※ 地域ものづくりネットワーク
ものづくり人材育成の推進を目的に設立された産学官によるネットワーク組織。県内の5地域（北上川流域、宮古、釜石、気仙、県北）で組織されている。

三次元設計開発技術を習得した高校生数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値（R4）
63	210	239	達成【A】 (100%以上)	290

■建設業の将来を担う人材の確保、育成

建設現場における技術力の向上に向けて、関係機関と連携した講習会の実施や、建設分野への情報通信技術（ICT）の普及・拡大を図っています。

計画における指標

若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数（単位：人）〔累計〕〈再掲〉

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
962	3,000	3,169	達成【A】 (100%以上)	4,000

■情報通信技術（ICT）人材の育成

最新の情報通信技術（ICT）を紹介する県民向けフェア、オープンデータやIoT（※）等に関する企業や市町村職員等向けセミナーの開催等によりICTの普及啓発やICT人材の育成に取り組んでいます。

※ IoT

Internet of Things（モノのインターネット）の略。様々なモノがインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。

計画における指標

ICTセミナー受講者数（オンラインも含む）（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②431	631	741	達成【A】 (100%以上)	841

■科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成

最先端の科学技術に触れる機会の提供等を通じて、科学技術に関する興味や関心を高めることなどにより、本県の多様な資源と技術を生かした研究開発を担う人材の育成に取り組んでいます。

計画における指標

科学技術普及啓発イベント等来場者数（オンラインを含む）（単位：人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②1,093	5,500	0	遅れ【D】 (60%未満)	8,000

- 科学技術普及啓発イベント等来場者数（オンラインを含む）は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、関係事業者等とオンラインを含む開催の検討を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により会場での開催が困難であり、かつ、オンラインのみの開催を行うには十分な内容を提供することが難しいと判断し、開催を中止したため、達成度は【D】となりました。

〈今後の方向〉

オンライン講演や動画配信などのデジタルコンテンツも活用し、最先端の科学技術や海洋研究を身近に感じられる機会の提供を通じて、科学技術に関する興味や関心の向上に取り組めます。

■地域産業の国際化に貢献する人材の育成

- ・学生の国際的視野を養うため、企業や団体、高等教育機関、行政など産学官が一体となった「いわてグローバル人材育成推進協議会」を活用し、学生の海外留学や、留学に向けた地域課題を把握するための地元企業等へのインターンシップを支援しています。
- ・外国人留学生やJETプログラム経験者の県内就職を促進するため、県内企業と留学生等のマッチングやインターンシップの機会を提供しています。

計画における指標

いわてグローバル人材育成推進協議会の支援制度を利用して海外留学した学生数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③05	8	8	—	13

グローバルキャリアフェアの参加者数（オンラインを含む）（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②74	108	91	遅れ【D】 (60%未満)	165

- グローバルキャリアフェアの参加者数（オンラインを含む）〔累計〕は、グローバル人材の県内定着に向けて、キャリアフェアの開催に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による入国制限等の長期化に伴い、参加対象の留学生等が減少したことなどにより、同フェア参加者数も減少したことから、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症の影響下においても、若年者が海外と触れる機会を確保するとともに、地域産業の国際化に資するため、関係機関等と連携し留学生等の県内定着の促進に向けた取組を推進します。

■キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

- ・各学校が作成した「キャリア教育全体計画」に基づき、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力を育成するため、キャリア教育を一層推進し、社会人講師によるライフデザインに関する講演や社会人との交流会等に取り組んでいます。
- ・児童生徒、保護者、教員の地域企業等への理解や関心を高めるため、県内の産業界等と連携し、企業見学会や企業ガイダンスの開催などに取り組んでいます。

計画における指標

将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合（単位：％）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
55	61	48	遅れ【D】 (60%未満)	65

- 将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合は、各校におけるキャリア教育の推進によって一昨年度よりも上昇しましたが、各学校で計画した行事等の中止や規模縮小のために目標値を下回り、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

キャリア教育を一層推進し、企業・関係団体等との連携による社会人講話や企業見学等の実施、キャリア・パスポートの活用により、キャリア教育の質の向上と充実に取り組めます。

■高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組の推進

東日本大震災津波からの復興やふるさと振興を進める上での様々な地域課題の解決に向けて、高等教育機関の専門的知識を活用した共同研究を推進するほか、新たな仕組みを地域に定着させるための取組などを展開しています。

計画における指標

地域課題解決を目的とした県内高等教育機関との共同研究数（単位：件）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
13	45	53	達成【A】 (100%以上)	60

■地域をけん引する人材の育成と若者定着の促進

県内大学生等の卒業後の地元定着を高めるため、産学官連携による地元企業の魅力向上を図るとともに、県内企業と大学生等との交流機会の創出等による地元定着の意識の醸成に取り組んでいます。

計画における指標

県内企業等へのインターンシップ参加者数数（オンラインを含む）（単位：人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②189	90	238	達成【A】 (100%以上)	190

県内大学等卒業者の県内就職率（単位：％）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
45.3	50.5	47.0	遅れ【D】 (60%未満)	51.5

- 県内大学等卒業者の県内就職率は、県内大学生等の卒業生の地元定着を促進するため、大学等における県内企業紹介キャラバンを実施したほか、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえてWEBによる合同企業説明会を開催するなど、県内企業の魅力を伝える機会を設けてきた結果、実績値（就職率）は向上しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に引き続きインターンシップが中止になるなど県内企業を知る機会が減少したこと等により、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症の影響下においても、県内学生等と県内企業との交流機会の充実を図り、高等教育機関等と連携し、県内企業の魅力を伝える取組や県内就職を希望する学生と求人企業とのマッチングを支援する取組を継続して実施するとともに、地域や岩手を学ぶ地域ニーズに対応した教育プログラムへの反映などにより、県内学生等の地元定着意識の醸成に取り組みます。

また、高等教育機関や企業等と連携し、大学資源を活用した産業の創出の促進や、社会人の学びなおしを行うためのリカレント教育の充実、県内での起業を目指す大学生や社会人等を対象とした実務教育の実施など、雇用の創出に向けた取組を推進します。

■県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進 [再掲]

(施策項目 9 を参照)

■若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保

若者の起業マインドの醸成や、後継者の経営能力の向上を図るための取組を大学や商工指導団体等と連携して行っています。

計画における指標

商工指導団体による創業指導回数 (単位: 回) [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②1,017	1,317	1,499	達成【A】 (100%以上)	1,617

いわて起業家育成資金の貸付件数 (単位: 件) [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
76	270	284	達成【A】 (100%以上)	360

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]

(施策項目 6 を参照)

■売れる観光地をつくる体制の整備促進 [再掲]

(施策項目 10 を参照)

■若者の活躍支援

若者が地域の課題解決を目指して、自由な発想で考え、話し合い、次への活動につながられるよう、地域づくり、ボランティア、起業、文化等の多様な分野で活躍する若者の交流促進を図り、若者同士のネットワークづくりの支援に取り組みます。

計画における指標

いわて若者交流ポータルサイト登録団体数 (単位: 団体) [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②95	101	101	達成【A】 (100%以上)	107

施策項目 2 新たな商品・役務の開発、研究成果の事業化、新たな販売先の開拓等による事業規模の拡大等の支援

【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 産業の一層の集積と高度化を通じた、ものづくりのグローバル拠点化の推進
- 地域経済の好循環をもたらす地域クラスターの拡大促進
- 企業間・産学官連携を通じた関連技術の開発などによる新産業の創出
- 企業の生産性や付加価値の向上にむけた「ものづくり革新」への対応
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

【主な取組状況】

■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業者が、社会経済環境の変化に的確に対応し、新分野への進出、新商品の開発など新たな事業活動に取り組めるよう、産業支援機関と連携して「経営革新計画（※）」の策定を支援しています。

※ 経営革新計画

「中小企業等経営強化法」に基づき、事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ることを目的として作成する計画。この計画の承認を受けることにより、県の融資制度等による支援措置を受けることが可能となる。

計画における指標

経営革新計画承認件数（件）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
549	788	805	達成【A】 (100%以上)	828

商工指導団体による指導を受けた企業・組合数（企業・組合）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
37,000	119,251	115,905	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	156,251

■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出

地域に密着した商業・サービス業者等の持続的発展を図るため、市町村や商工指導団体と連携して、付加価値の高い商品やサービスの創出、生産性の向上の取組を支援しています。

計画における指標

商業・サービス業者に対する専門家利用企業数（企業）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
97	440	694	達成【A】 (100%以上)	540

計画における指標

にぎわいや魅力づくりにつながる活動に取り組む商店街の割合（％）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
⑳42.6	61.2	61.9	達成【A】 (100%以上)	65.2

■産業の一層の集積と高度化を通じた、ものづくりのグローバル拠点化の推進

・自動車関連産業については、展示商談会や工程改善研修会の開催、設備投資支援、人材育成支援等を通じて、県内における一層の産業集積を図るとともに、岩手の優れたクルマづくり技術のグローバル展開を促進し、地場企業の更なる業容拡大・技術力向上につながる取組を支援しています。

・半導体関連産業については、地場企業の技術力向上等を支援し、誘致企業をはじめとする関連企業との協業・取引拡大につながる取組を推進するとともに、県内大学等と連携し、社会人や県内の学生を対象とした技術習得や教育訓練を実施する等、世界的に拡大している半導体市場を的確に捉えた取組を推進し、中核産業としての成長力を高めています。

計画における指標

地場企業の自動車関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
36	105	130	達成【A】 (100%以上)	140

地場企業の半導体関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
48	90	77	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	120

■地域経済に好循環をもたらす地域クラスターの拡大促進

地場企業の技術高度化や新技術開発等の取組を支援し、国内外に一定のシェアを持つ県内各地の中核的企業と地場企業群とのサプライチェーンの構築につなげ、さらには、形成した地域クラスターの拡大を促進しています。

計画における指標

クラスターに新規に参加する地場企業数（社）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	12	16	達成【A】 (100%以上)	16

クラスター参入企業における新規取引件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	15	19	達成【A】 (100%以上)	20

■企業間・産学官連携を通じた関連技術の開発などによる新産業の創出

- ・医療機器、ロボットなどの新たな産業分野への県内企業の参入を促進するため、企業間連携や産学官連携による関連技術開発、販路開拓等の取組を支援しています。
- ・航空機、加速器関連などの将来成長が見込める有望な産業については、産業支援機関等と連携し、情報収集や地場企業のニーズ把握等を進めています。

計画における指標

医療機器関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
9	24	30	達成【A】 (100%以上)	32

医療関連機器等の新製品開発件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1	6	8	達成【A】 (100%以上)	8

産学官連携によるロボット開発件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
2	6	10	達成【A】 (100%以上)	7

■企業の生産性や付加価値の向上に向けた「ものづくり革新」への対応

企業の生産性や付加価値の向上に向けて、生産現場におけるカイゼン、3S、カラクリ等の取組を支援します。

計画における指標

ものづくり関連分野（輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等）の付加価値額（百万円）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸385,425	㊹409,076	—	—	㊺415,212

- ものづくり関連分野（輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等）の付加価値額は、統計結果が公表されていないため、実績値は測定できませんでした。なお、令和3年度においては、ものづくり産業のデジタル化の普及啓発や生産技術の高度化支援、人材育成などに取り組みました。

創意工夫功労者賞（※）受賞者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
32	120	52	遅れ【D】 (60%未満)	160

- 創意工夫功労者賞受賞者数〔累計〕は、表彰制度の周知活動強化に努めたことにより、全国で4番目となる12名の受賞者数となりましたが、令和元年度の国の推薦要領の変更による全国受賞者数の減少に伴い、岩手県の受賞者も減少し、達成度

は【D】となりました。

＜今後の方向＞

創意工夫功労者の受賞者数増加に向けて、これまでの応募企業に対して継続的な応募への働きかけを行うとともに、未応募企業に対する創意工夫功労者賞への理解促進と応募への働きかけに取り組みます。

※ 創意工夫功労者賞

優れた創意工夫により職域における技術の改善向上に貢献した者を対象にした文部科学大臣が表彰する賞のこと。

■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援

(施策項目 6 を参照)

■水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援

沿岸地域の主要産業である水産加工業が抱える原材料の調達や労働力の確保といった課題に対応するため、関係機関と連携しながら相談会等による商品開発、商談会やフェア等による販路開拓、カイゼンによる生産性向上及び人材育成などに取り組んでいます。

計画における指標

商品開発等の支援を受けた水産加工業者件数 (件) [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
35	120	110	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	160

国内の食の商談会等出展者(水産加工業) 数 (オンラインを含む) (者) [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②186	270	275	達成【A】 (100%以上)	375

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]

(施策項目 6 を参照)

施策項目3 新たな事業活動の実施等に必要な資金の円滑な供給

【推進した施策】

○企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援

【主な取組状況】

■企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援

中小企業者の事業活動に必要な資金や、県内中小企業が経営の安定に支障を来すおそれのある場合に、運転資金など経営改善の取組に必要な資金の貸付を行っています。

また、経営の革新等により今後の成長や周辺企業への波及効果が期待される中小企業の設備投資を支援するため、(公財)いわて産業振興センターが行う設備貸与事業に要する事業原資の貸付を行っています。

計画における指標

商工観光振興資金及び中小企業成長応援資金の貸付件数(件) [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
758	1,756	2,046	達成【A】 (100%以上)	2,256

設備貸与制度の利用実績(件) [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
60	90	83	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	120

施策項目4 経営に関する相談、指導、研修等に係る体制整備等

【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤強化

【主な取組状況】

■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進[再掲]
(施策項目2を参照)

■商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進[再掲]
(施策項目7を参照)

■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出[再掲]
(施策項目2を参照)

■建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤強化

・社会資本の整備や維持管理、災害時の対応を担う地域の建設企業における建設技能労働者の確保に向け、建設業の魅力の発信等に取り組むほか、建設現場における労働

環境の改善に向けた意識啓発に取り組み、若者や女性等が働きやすい労働環境の整備を促進しています。

- ・建設現場における生産性の向上に向け、建設分野への情報通信技術（ICT）の普及・拡大を図っています。

- ・県内建設業の総合対策としてのいわて建設業振興中期プランに基づき、地域の建設企業の経営基盤の強化や経営革新のほか、新分野・新事業に取り組む企業に対する支援等を行っています。

計画における指標

若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数（人）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
962	3,000	3,169	達成【A】 (100%以上)	4,000

ICTを活用した県営建設工事の実施数（件）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
14	42	73	達成【A】 (100%以上)	50

経営支援センターの助言等による新事業立ち上げ企業数（社）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
120	132	132	達成【A】 (100%以上)	135

施策項目5 その他中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備

【推進した施策】

- 被災した水産加工業者に対する支援
- 三陸の多様な資源を生かした産業振興に向けた支援
- 被災企業の事業再開の推進
- 三陸の多様な資源を生かした研究開発の推進
- 企業誘致等による地域産業の拠点化・高度化の推進
- 多様なものづくり風土の醸成
- 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進
- 国際研究拠点の形成と関連インフラの整備
- イノベーションの創出に向けた研究開発の推進
- ICT利活用による地域課題の解決と県民利便性の向上

【主な取組状況】

■被災した水産加工業者に対する支援[再掲]

（施策項目5「被災企業の事業再開の推進」を参照）

■三陸の多様な資源を生かした産業振興に向けた支援

三陸の多様な資源を生かした産業の振興が図られるよう、復興まちづくりに合わせて、若者や女性をはじめとした被災地での起業、第二創業、新事業進出等の新たなビジネス立ち上げを支援するとともに、起業家等の経営支援や資金調達支援等に取り組んでいます。

計画における指標

沿岸地域起業者等成長支援事業費における支援事業者数（者）

R3 実績値	R3 計画値
38	35

■被災企業の事業再開の推進

複数の中小企業等が一体となって、サプライチェーンの回復、地域の産業集積、商業集積機能の維持・再構築を図る場合に、当該事業に必要な施設・設備の復旧・整備を支援しています。

また、産業支援機関と連携し、経営の安定化を支援するとともに、事業計画策定等の支援を通じて、事業再開した被災地の中小企業者の販路開拓や売上増加に向けた取組を支援しています。

計画における指標

中小企業東日本大震災復興資金貸付金による融資額（億円）

R3 実績値	R3 計画値
15	10

新しい三陸の地域産業展開事業による企業訪問回数（回）

R3 実績値	R3 計画値
120	100

新しい三陸の地域産業展開事業による経営革新計画策定事業者数（者）

R3 実績値	R3 計画値
6	8

■企業誘致等による地域産業の拠点化・高度化の推進

・企業間連携などを通じて既立地企業の業容拡大を支援するとともに、特に地域の産業経済の中核となる企業については、研究開発や情報処理部門をはじめとする本社機能や関連企業の移転・拡充の促進により、県内における一貫生産体制の構築と一層の拠点化を進めています。

・県北・沿岸地域においては、多様な就業の場を確保するための新規誘致や既立地企業の業容拡大に加え、地域全体の産業競争力の強化のため、地場企業を含めた生産性・技術力の向上や人工知能（AI）・IoTなどの導入を支援しながら、地域産業の高度化に取り組んでいます。

計画における指標

新規立地・増設件数（件）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
29	75	110	達成【A】 (100%以上)	100

県北・沿岸地域における新規立地・増設件数（上記指標の内数）（件）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
6	15	15	達成【A】 (100%以上)	20

■多様なものづくりの風土の醸成

個人がデジタル工作機器等に触れることができる「ファブテラスいわて」の利用拡大等により、ものづくりが身近になることで、独創的なアイデアを製品開発や起業に結び付けられるような多様なものづくり風土の醸成を図っています。

計画における指標

ファブテラスいわての利用者数（人）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	2,880	3,228	達成【A】 (100%以上)	3,840

計画目標値は R2 からの累計

■廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進

事業者による 3 R (※) を促進するため、廃棄物の発生抑制等に資する技術や製品の開発など新たな環境産業の創出や環境に配慮した事業活動を支援しています。

※ 3 R

Reduce（リデュース：廃棄物の発生抑制）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再生利用）の 3 つの英語の頭文字をとったもの。3 つの R に取り組むことでごみを限りなく少なくし、環境への影響を極力減らし、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）をつくろうとするもの。

計画における指標

事業者等の 3 R 推進の取組に対する支援実施件数（件）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
101	125	131	達成【A】 (100%以上)	131

■国際研究拠点の形成と関連インフラの整備

- ・ I L C (※1) の実現による国際研究拠点の形成に向けて、「I L Cによる地域振興ビジョン」(令和元年7月策定)に基づき、東北 I L C 事業推進センターと連携した建設候補地として必要となる受入環境の整備に向けた調査検討や、県内企業の加速器関連産業への参入等の支援に取り組んでいます。
- ・ いわて海洋研究コンソーシアム(※2)をはじめ、県内のみならず、海外の研究機関との連携や新しい研究機能の誘致活動を推進し、海洋分野の国際研究拠点の形成に取り組めます。

※1 I L C

International Linear Collider (国際リニアコライダー) の略。全長 20~50 km の地下トンネルに建設される、電子と陽電子を加速、衝突させ、質量の起源や時空構造、宇宙誕生の謎の解明を目指す大規模施設。

※2 いわて海洋研究コンソーシアム

海洋研究機関等のネットワーク強化による研究プロジェクトの創出や研究者の集積を図ることにより沿岸地域における産業の活性化に寄与することを目的に、東京大学大気海洋研究所をはじめとする沿岸地域に立地する海洋研究機関と地域の行政、商工指導団体等により平成 21 年(2009 年)7 月に設立。

計画における指標

研究者等調査対応件数(件)[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10	51	54	達成【A】 (100%以上)	75

加速器関連産業における共同研究開発件数(件)[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	3	3	達成【A】 (100%以上)	4

三陸海域論文知事表彰応募件数(件)[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③010	30	26	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	40

■イノベーションの創出に向けた研究開発の推進

ものづくり産業や農林水産業をはじめとする各分野における課題解決を図るため、先端科学技術の成果の生産現場導入を推進しています。また、本県の多様な資源と技術を生かした研究シーズの創出・育成に向け、研究開発基盤の強化、資金支援、産学官金連携の取組を推進しています。

計画における指標

特許出願等相談件数(件)[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,599	1,675	1,829	達成【A】 (100%以上)	1,700

特許出願件数（件）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②480	500	448	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	500

県の支援による科学技術に関する競争的資金獲得件数（件）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10	10	11	達成【A】 (100%以上)	10

公設試験研究機関における産学官共同研究数（件）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
120	372	426	達成【A】 (100%以上)	500

■ ICT利活用による地域課題の解決と県民利便性の向上

企業や市町村にICTの専門家を派遣し、ICTの利活用による業務改善等についてアドバイスをを行っています。また、最新のICTの利活用事例に関するフェアやセミナーの開催により、県民や市町村、企業等への普及啓発を行っています。

計画における指標

ICTフェア来場者数（オンラインを含む）（人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②152	500	0	遅れ【D】 (60%未満)	640

- ICTフェア来場者数（オンラインを含む）は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、関係事業者等とオンラインを含む開催の検討を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により会場での開催が困難であり、かつ、オンラインのみの開催を行うには十分な内容を提供することが難しいと判断し、開催を中止したため、達成度は「D」となりました。

＜今後の方向＞

医療・介護、教育、農林水産業など、県民の生活に関わる様々な分野において、地域課題の解決を図るため、IoT、AI、ロボット等の先端技術をはじめとしたICTを利活用した取組を推進するとともに、産学官金の連携組織である「いわてデジタルトランスフォーメーション推進連携会議」において課題の整理や対策の検討を行い、県民のインターネット利用率やデジタルリテラシーの向上、市町村におけるデジタル技術を活用した新たな住民サービスの充実支援など、デジタル社会の実現に向けたDXの推進に取り組みます。

ICTセミナー受講者数（オンラインを含む）（人）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②431	631	741	達成【A】 (100%以上)	841

施策項目6 地域資源を活用した商品・役務の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等

【推進した施策】

- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援
- 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進 ○質の高い旅行商品の開発・売込み
- 快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり
- 県産農林水産物の高付加価値化と販路の開拓・拡大の推進
- 県産農林水産物の評価・信頼の向上
- 戦略的な県産農林水産物の輸出促進と外国人観光客等への対応
- 生産者と消費者の結びつきを深め、地域経済の好循環を創出する取組の推進
- 温室効果ガス排出削減対策の推進 ○再生可能エネルギーの導入促進
- 地球温暖化に伴う気候変動の影響への適応

【主な取組状況】

■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援

本県食産業振興の協働体制であるプラットフォーム「FCP（※）岩手ランチ」（構成員：企業、生産者、産業支援機関、行政等）などの活動を通じて、農商工連携や事業者間連携を促進しています。

※ フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）

農林水産省が提唱しているもので、食品事業者が主体的に行う「食の安全・安心」の活動を“見える化”することにより、食に対する消費者の信頼向上や、企業業績の向上につなげようとする取組。

計画における指標

国内の食の商談会等出展者数（オンラインを含む）（者）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②904	1,300	1,471	達成【A】 (100%以上)	1,800

国内の食の商談会有望取引件数（オンラインを含む）（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②686	900	995	達成【A】 (100%以上)	1,400

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

・伝統工芸産業については、ライフスタイルの変化を捉えた新商品開発や物産展等を通じた新たな顧客層の開拓、確かな産地形成のための人材確保・育成などを支援しています。

・漆産業については、情報発信や人材育成、対面販売等を行うイベント「漆の学校」の開催等を通じて、漆器の販路拡大や若手漆作家の技術向上の支援、インターンシップなどによる担い手の確保などに取り組んでいます。

・アパレル産業については、事業者の経営力を強化するため、縫製技術のレベルアップやマネジメント力向上等を目的とした人材育成を推進しています。

計画における指標

岩手県が実施する物産展・展示販売会等への伝統工芸産業事業者の出展者数（延べ）（者） [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②123	135	138	達成【A】 (100%以上)	220

岩手県が実施する物産展・展示販売会等での漆器販売額（万円） [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②732	770	705	遅れ【D】 (60%未満)	810

- 岩手県が実施する物産展・展示販売会等での漆器販売額（オンライン販売を含む）は、コロナ禍におけるライフスタイルの変化に応じてオンライン販売での購入の伸びを期待したものの、漆器等の工芸品については、丁寧な商品説明や商品現物に触れることが重視され、物産展等対面による販売機会の減少を補うほど十分な売上の伸びがなかったことから、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

- ・漆器等の工芸品については、物産展において対面による丁寧な商品説明や手に取って商品に触れることが購入につながることから、可能な限り物産展における対面販売の機会を確保し、商品周知や、リピーターの確保を図っていきます。
- ・県内外の漆器関係者等による漆の研究、事例発表会と併せて作家との対面販売を実施することで、購買欲の向上、新規顧客の確保に努めます。
- ・コロナに左右されない販路確保に向け、いわて銀河プラザに設置した大型ビジョンを活用し、工房と来店者を直接つなぐオンライン接客による通販イベントにより、新規顧客の獲得とリピーターの確保を目指すとともに、通販イベントに併せてバーチャル物産展の利用を促すなど、オンライン販売の強化に努めます。

アパレル商談会成約件数（件） [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②6	11	14	達成【A】 (100%以上)	21

■「観光で稼ぐ」地域づくりの推進 [再掲]

(施策項目 10 を参照)

■質の高い旅行商品の開発・売込み [再掲]

(施策項目 10 を参照)

■快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり

- ・県産木材を活用するなど岩手らしさや高い断熱性能を備えた岩手型住宅の普及、住宅の耐震改修の促進など、快適で安全な住宅の普及を促進します。
- ・地域の魅力を高め、地域を活性化するリノベーションまちづくりの取組を促進します。

計画における指標

新築住宅着工戸数に占める長期優良住宅(※)の割合 (%)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10.2	12.4	12.8	達成【A】 (100%以上)	13.0

※ 長期優良住宅

長期にわたり住み続けられるよう劣化対策や耐震性、維持管理の容易性などの措置が講じられた優良な住宅のこと。

■ 県産農林水産物の高付加価値化と販路の開拓・拡大の推進

6次産業化を推進するため、「食のプロフェッショナルチーム」アドバイザーによる商品開発等に関する指導や、「いわて6次産業化支援センター(※)」による事業計画策定等に関するサポート活動など、生産者による取組を支援しています。

※ いわて6次産業化支援センター

県が、生産者等の6次産業化の取組を総合的に支援する目的で設置し、各種サポート活動を行うもの。

計画における指標

6次産業化による販売額 (億円)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②8303	② 303	② 300	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	③318

商品開発等の支援による6次産業化件数 (件) [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
12	36	36	達成【A】 (100%以上)	48

素材需要量 (千m³)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,278	1,335	1,204	遅れ【D】 (60%未満)	1,346

- 素材需要量は、令和2年に新型コロナウイルス感染症の影響により減少した木材需要は回復傾向となりましたが、素材生産が需要に追い付かなかったこと等により、現状値(H29)を下回ったことから、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

公共施設や住宅、商業施設等における県産木材の利用や関係団体等と連携した首都圏の建設関係業者等への販路開拓の取組を推進します。

また、「いわて木づかい運動」の展開により、関係団体と連携しながら、日常生活や事業活動における県産木材の利用に向けた取組を促進します。

■県産農林水産物の評価・信頼の向上

- ・県産農林水産物や産地の評価向上を図るため、品質の管理や安定供給等に取り組むとともに、首都圏や海外において、流通関係者へのトップセールス等を実施するほか、量販店や飲食店等でターゲットとする消費者への販売促進活動を展開しています。
- ・県産農林水産物の販路開拓やブランド化を推進するため、関係機関・団体等と連携し、県産食材のPRや国内外におけるフェアの開催、販売促進キャンペーン等の取組を支援しています。
- ・県産木材の利用を促進するため、建築士・建築施工技術者の木造設計技術向上に向けた研修会の実施や、県産木材を使用した住宅の新築等への支援などに取り組んでいます。
- ・水産物の「三陸ブランド」の確立や産地魚市場における評価の向上を図るため、衛生品質管理の高度化に向けたアドバイザーの派遣や商談会の開催等を通じて、県産水産物やその加工品の魅力、産地の復興状況などの情報を発信しています。

計画における指標

いわて牛取扱い推奨店登録数（店舗）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
280	355	368	達成【A】 (100%以上)	365

園芸作物（野菜・果樹）の事前契約取引率（%）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
28	40.5	33.7	遅れ【D】 (60%未満)	42

- 園芸作物（野菜・果樹）の事前契約取引率は、干ばつや低温による生育の遅れや降ひょう害などの天候不順等の影響により、契約に沿った園芸作物の計画的な出荷ができなかったことから、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

トップセールスやオンラインを活用したプロモーションの強化、民間企業等との連携による販売促進キャンペーン・フェアの開催などを通じ、県産農林水産物や産地の評価・信頼の向上に取り組めます。

米のオリジナル新品種販売数量（トン）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
5,500	15,000	16,071	達成【A】 (100%以上)	16,000

素材需要量（千 m^3 ）<再掲>

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,278	1,335	1,204	遅れ【D】 (60%未満)	1,346

- 素材需要量は、令和2年に新型コロナウイルス感染症の影響により減少した木材需要は回復傾向となりましたが、素材生産が需要に追い付かなかったこと等により、現状値（H29）を下回ったことから、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

公共施設や住宅、商業施設等における県産木材の利用や関係団体等と連携した首都圏の建設関係業者等への販路開拓の取組を推進します。

また、「いわて木づかい運動」の展開により、関係団体と連携しながら、日常生活や事業活動における県産木材の利用に向けた取組を促進します。

水産加工事業者 1社当たりの製造品出荷額（億円）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊿5.19	㊿5.98	㊿5.95	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	㊿6.09

■戦略的な県産農林水産物の輸出促進と外国人観光客等への対応

- ・県産農林水産物の海外への販路拡大を支援するため、輸出コーディネーター等の人的ネットワークの活用や、相手国のニーズに沿った品目の販売促進活動などに取り組んでいます。

計画における指標

県産農林水産物取扱海外事業者数（社）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
50	62	63	達成【A】 (100%以上)	65

■生産者と消費者の結び付きを深め、地域経済の好循環を創出する取組の推進

- ・農林水産物の域内消費の拡大を図るため、市町村の地産地消促進計画に基づく取組を支援し、産直による学校給食や医療・福祉施設等への食材供給など地元食材の利用拡大を進めるとともに、食と農に関わる多様な関係者の参画のもと、地域における持続的なビジネスの創出に取り組んでいます。

計画における指標

地産地消促進計画策定市町村数（市町村）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
26	32	32	達成【A】 (100%以上)	33

年間売上高 1 億円以上の産直数（施設）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊿39	39	39	達成【A】 (100%以上)	40

■温室効果ガス排出削減対策の推進

- ・事業所における環境マネジメントシステムの普及を図るほか、省エネルギー性能の高い設備・機器の導入や効率的なエネルギー管理の支援などにより、事業活動の省エネルギー化に取り組んでいます。
- ・次世代自動車の普及や環境に配慮した自動車使用の促進、公共交通機関の利用促進を図るなど自動車交通における環境負荷の低減に取り組んでいます。

計画における指標

いわて地球環境にやさしい事業所認定数（事業所）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③0202	262	279	達成【A】 (100%以上)	272

乗用車の登録台数に占める次世代自動車の割合（%）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
14.8	23.5	22.7	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	25.7

■再生可能エネルギーの導入促進

- ・全国トップクラスにある再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、再生可能エネルギーの導入促進に取り組んでいます。
- ・国の動向や技術開発の進展等も踏まえながら、岩手県水素利活用構想に基づき、再生可能エネルギーにより生成した水素の利活用や理解促進に取り組んでいます。
- ・災害にも対応できる自立・分散型エネルギーシステムの構築に向けて、被災家屋への太陽光発電等の導入を支援するとともに、市町村等の地域のエネルギーシステムの構築に向けた取組を支援しています。

計画における指標

再生可能エネルギー導入量（MW）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,046	1,669	1,681	達成【A】 (100%以上)	1,687

住宅用太陽光発電設備導入件数（件）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
25,634	29,200	31,976	達成【A】 (100%以上)	29,700

チップの利用量（B D t）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
230,809	233,000	243,110	達成【A】 (100%以上)	233,800

■地球温暖化に伴う気候変動の影響への適応

地球温暖化による気温上昇に伴う気候変動の影響とその対策について、イベントやシンポジウムの開催、テレビ等による広報を実施し、理解促進に取り組んでいます。

計画における指標

気候変動対策に関する総合イベント参加者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②6,851	13,000	10,927	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	20,000

- 気候変動対策に関する総合イベント参加者数（オンラインを含む）〔累計〕は、気候変動対策の総合イベントとして、「いわて気候変動チャレンジフェスタ」を開催し、広く県民に普及啓発を行いました。オンライン参加者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大による岩手緊急事態宣言の発表に伴い、イベントの一部を中止し会場開催の規模を縮小して実施したため、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

広く県民に対して、気候変動対策に関する様々な普及啓発を実施し、気候変動の影響と適応策に関する県民の理解増進に取り組みます。

施策項目 7 創業、円滑な事業承継の支援

【推進した施策】

- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 多様なものづくりの風土の醸成 ○地域コミュニティ活動を支える人材の育成
- 岩手ファンの拡大と U・I ターンの促進
- 安心して移住し、活躍できる環境の整備 ○女性の活躍支援

【主な取組状況】

■商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進

- ・中小企業者が行う事業承継に向けた準備を早期かつ計画的に進めるため、商工会、商工会議所などの商工指導団体が、金融機関等と連携して実施する事業承継診断や、経営者との対話・相談などの取組を促進しています。
- ・中小企業者における親族や従業員等への事業承継を円滑に進めるため、商工会、商工会議所が中小企業者に密着し、事業承継計画の策定から事業承継後のフォローアップまで実施する継続的な取組を支援しています。

また、後継候補者がいない中小企業者に対しては、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関とのネットワークによる相談対応や事業引受希望者とのマッチングなどの取組を促進しています。

計画における指標

商工指導団体による事業承継診断を受けた企業数（企業）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
300	1,555	1,908	達成【A】 (100%以上)	1,915

事業承継の支援を受けた企業数（企業）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
807	2,400	3,172	達成【A】 (100%以上)	3,200

■若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保〔再掲〕

（施策項目1を参照）

■多様なものづくりの風土の醸成〔再掲〕

（施策項目5を参照）

■地域コミュニティ活動を支える人材の育成

地域づくりの新たな担い手である地域おこし協力隊(※)が円滑に活動できるよう、スキルアップやネットワークづくりを支援するほか、地域おこし協力隊などを対象とした起業セミナーの開催などにより地域への定着を図っています。

※ 地域おこし協力隊

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を通じて、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。

計画における指標

地域おこし協力隊員数（人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
130	218	210	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	235

地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数（オンラインを含む）（人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②629	904	926	達成【A】 (100%以上)	1,179

■岩手ファンの拡大とU・Iターンの促進

- ・移住希望者の多様なニーズに対応するため、首都圏に設置している移住と就職の一元的な相談窓口及び就職情報マッチングサイトの機能を強化しています。
- ・首都圏等人材と県内企業・団体との複業マッチングを促進する等し、関係人口の創出・拡大を図っています。
- ・「岩手U・Iターンクラブ」加盟大学などと連携して、就職相談やインターンシップのほか、岩手版ワーキングホリデーの推進等を図るとともに、農林水産業など各分野の人材確保の取組と連携したU・Iターン希望者への情報発信に取り組んでいます。

計画における指標

移住相談件数（件）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
3,263	7,000	8,128	達成【A】 (100%以上)	7,500

U・Iターン就職者数（人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
794	5,760	4,042	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	7,060

- U・Iターン就職者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響による求人数の減少や、緊急事態宣言に伴う移動制限の影響等により、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

- ・ 首都圏において、岩手県のアンテナショップ利用者や仕事帰りのビジネスマンを対象としたU・Iターン相談会を実施するとともに、移住イベントをきっかけとした来訪者へのキャリアカウンセリングの実施などにより、移住希望者への伴走支援に取り組みます。
- ・ 帰省時期に合わせたUターンプロモーションの実施等により県の就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の周知拡大を図り、事業者・求職者の登録促進と、マッチングの強化に取り組みます。
- ・ 「いわて暮らし応援事業」及び県独自の「いわて若者移住支援金」により、東京圏からの若者層の移住者拡大に取り組みます。

■安心して移住し、活躍できる環境の整備

- ・ 市町村や関係団体、NPOなどの官民が連携した移住推進体制の強化を図るとともに、企業立地等に伴う移住者を含め、地域で移住者を受け入れるためのサポート体制の整備に取り組んでいます。
- ・ 仕事に関する情報発信の強化や、起業の促進などにより、若者や女性の県内への移住推進を図るとともに、地域おこし協力隊などを対象とした起業セミナーの開催などにより地域への定着を図っています。

計画における指標

移住コーディネーター、定住支援員等を配置している市町村数（市町村）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
9	31	31	達成【A】 (100%以上)	33

地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数（人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②629	904	926	達成【A】 (100%以上)	1,179

■女性の活躍支援 [再掲]

(施策項目 9 を参照)

施策項目 8 小規模企業者への支援

【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

【主な取組状況】

■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進 [再掲]

(施策項目 2 を参照)

■商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進 [再掲]

(施策項目 7 を参照)

■若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保 [再掲]

(施策項目 1 を参照)

■企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援 [再掲]

(施策項目 3 を参照)

■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出 [再掲]

(施策項目 2 を参照)

■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援 [再掲]

(施策項目 6 を参照)

■水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援 [再掲]

(施策項目 2 を参照)

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]

(施策項目 6 を参照)

施策項目9 雇用環境の整備に対する支援等

【推進した施策】

- 働き方改革の取組の推進 ○仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
- いきいきと働き続けるための健康づくりの推進
- 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進
- 女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援 ○安定的な雇用の促進
- 雇用・労働環境の整備の促進 ○子育てと仕事の両立を図る家庭への支援
- 障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援
- 生涯を通じた健康づくりの推進
- 結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進 ○女性の活躍支援

【主な取組状況】

■働き方改革の取組の推進

- ・「いわてで働こう推進協議会」を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開により、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上、完全週休2日制普及等の働き方改革の取組を推進しています。
- ・休暇制度や各種手当などの雇用・労働環境の改善について、岩手労働局と連携し、産業関係団体への要望活動や国の各種助成制度等の普及啓発を行っています。

計画における指標

いわて働き方改革推進運動参加事業者数（事業者）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値（R4）
128	800	680	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,000

年次有給休暇の取得率（%）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値（R4）
48.7	②69.0	②56.1	遅れ【D】 (60%未満)	③75.0

- 年次有給休暇の取得率は上昇傾向にはありますが、人手不足が続いていることなどにより、大きな上昇には結びつかなかったため、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

- ・ 「いわてで働こう推進協議会」を核として、県内企業における休暇取得促進や長時間労働の是正など、働き方改革を推進します。
- ・ いわて働き方改革アワードの実施により、「働き方改革」の取組を表彰し、県内企業などに広く普及啓発します。
- ・ 年次有給休暇の取得促進など、働き方改革に向けた取組を推進するため、岩手労働局等関連機関と連携して経済団体等に対して要請を行います。
- ・ 企業が行う魅力ある職場環境整備の取組に要する経費について補助し、県内企業における働き方改革等の取組を推進します。

■仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

- ・セミナー開催や助成金のPRを行うなど、育児休業制度・介護休業制度の普及を促進します。
- ・仕事と子育ての両立支援などに取り組む企業等の表彰・認証の促進などにより、子育てにやさしい職場環境づくりを支援します。

計画における指標

いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数（事業者）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
65	265	295	達成【A】 (100%以上)	315

■いきいきと働き続けるための健康づくりの推進 [再掲]

■県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進

- ・若者に県内の仕事や企業について理解を深めてもらうため「いわてで働こう推進協議会」を中心に、中高生向けの出前授業や、高校生及び保護者への企業説明会、高校生と県内若手社員との交流会の実施などに取り組んでいます。
- ・ジョブカフェいわて及び地域ジョブカフェ等を拠点として、キャリアカウンセリングや研修等により若者等の就職活動や職場定着を支援しています。
- ・若者の早期離職の防止のため、企業の育成担当者の育成スキル向上のためのセミナーを開催したほか、「いわて働き方改革アワード」において優良な取組を行った企業を表彰するなど、県内企業における人材育成や職場定着の普及啓発などに取り組んでいます。
- ・学生等のU・Iターン就職を促進するため、インターンシップや就職情報マッチングサイト及び首都圏の相談窓口を核とした就職活動等への支援を強化しています。

計画における指標

高校生の県内企業の認知度割合（%）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
50.8	91.8	72.8	遅れ【D】 (60%未満)	100.0

- 高校生の県内企業の認知度割合は、いわてで働こう推進協議会を核とした取組により就職を希望する高校生の認知度は上昇傾向にあるものの、進学を希望する高校生の地元企業への関心を高めるところまでは至っていないと考えられ、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

- ・ 様々な機会を捉えて、高校生や大学生等とOB・OGの若手社員等との、仕事や生活などについての意見交換会を実施すること等により、学生・生徒の県内企業への理解促進に取り組みます。
- ・ 県内の大学等及び企業が出展する合同説明会の開催や、県内就業・キャリア教育コーディネーターの活動等により、進学希望の高校生等に対する県内企業の認知度向上に取り組みます。

ジョブカフェ等のサービスを利用して就職決定した人数（人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
2,052	6,300	4,907	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	8,400

- ジョブカフェ等のサービスを利用して就職決定した人数〔累計〕は、ジョブカフェいわてにおける実績 については、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインを活用した相談等に取り組んだことにより 概ねコロナ禍以前の水準となりましたが、併設ハローワークにおける実績については、オンラインによる 相談対応が普及していないこと等により、想定よりも利用者数が減少したため、達成度は【C】となりました。

＜今後の方向＞

- ・ ジョブカフェいわてにおけるオンラインも活用したキャリアカウンセリングや研修等の実施等により、若者等への就職支援に取り組みます。

高卒者3年以内の離職率（%）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
38.8	②36.4	②33.5	達成【A】 (100%以上)	③35.6

U・Iターン就職者数（人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
794	5,760	4,042	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	7,060

- U・Iターン就職者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響による求人数の減少や、緊急事態宣言に伴う移動制限の影響等により、達成度は【C】となりました。

＜今後の方向＞

- ・ 首都圏において、岩手県のアンテナショップ利用者や仕事帰りのビジネスマンを対象としたU・Iターン相談会を実施するとともに、移住イベントをきっかけとした来訪者へのキャリアカウンセリングの実施などにより、移住希望者への伴走支援に取り組みます。
- ・ 帰省時期に合わせたUターンプロモーションの実施等により県の就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の周知拡大を図り、事業者・求職者の登録促進と、マッチングの強化に取り組みます。
- ・ 「いわて暮らし応援事業」及び県独自の「いわて若者移住支援金」により、東京圏からの若者層の移住者拡大に取り組みます。

■女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援

- ・ 育児に配慮した託児サービス付き訓練を実施するなど、女性の再就職を支援するとともに、就職につながりやすい国家資格の取得を目指す訓練コースなど、雇用情勢や産業政策、企業ニーズを踏まえた職業訓練等の就業支援を実施しています。
- ・ 障がい者の態様に応じた多様な訓練を実施し、障がい者の就職を支援しています。
- ・ 在職者の技能向上を促進するため、企業ニーズを踏まえた在職者訓練を実施するとともに、職業能力開発に関する情報提供、相談・援助を行っています。
- ・ 高度な技能を継承する技能者を育成するため、全国レベルの競技大会への参加やものづくりマイスター制度の活用を促進するとともに、技能検定制度等の職業能力評価

制度の普及を促進しています。

・ 県立職業能力開発施設において、時代の変化や地域社会のニーズに対応した体制整備を推進し、将来の本県産業を担う人材を育成するとともに、就職を希望する学生の県内就職を促進しています。

計画における指標

離職者等を対象とした職業訓練の女性受講者の就職率（％）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸79.7	㊱84.0	㊱82.3	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	㊹84.0

離職者等を対象とした職業訓練の受講者の就職率（％）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸77.1	㊱80.0	㊱80.7	達成【A】 (100%以上)	㊹80.0

障がい者委託訓練の受講者の就職率（％）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
56.0	66.4	73.7	達成【A】 (100%以上)	69.0

技能検定合格者数（％）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,221	1,320	1,172	遅れ【D】 (60%未満)	1,345

- 技能検定合格者数は、後期の技能検定のみ実施した令和2年度とは異なり、令和3年度は前期・後期ともに実施し受検機会が確保されたものの、新型コロナウイルス感染症対策のため、企業が社員の受検を見合わせる傾向があったこと等により、受検者数が想定より少なく、連動して合格者数も伸びなかったため、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

- ・ 技能検定の機会の確保や試験の円滑な実施のため、県立職業能力開発施設の借用や職業訓練指導員の派遣等に積極的に協力していきます。
- ・ 若年層の受検料の負担を軽減する「受検料の減免措置」について一層の周知を図り、若手技術者の積極的な受検を喚起します。
- ・ 製品の生産性の向上や品質の維持、高い技術力の証明等、技能検定合格者である技能士活用のメリットについて引き続き企業にPRし、技能検定制度の周知と、受検の喚起につなげていきます。

県立職業能力開発施設における県内に事業所がある企業への就職率（％）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊹79.1	81.2	83.6	達成【A】 (100%以上)	81.2

■安定的な雇用の促進

・いわてで働こう推進協議会を中心に、安定的な雇用に向けた企業活動の支援や、医療・福祉分野における人材確保など、各分野での安定的な雇用確保の取組を推進しています。

・岩手労働局と連携し、求人の正社員化による安定的な雇用の確保や非正規労働者の正社員転換・待遇改善について、施策の周知を行うとともに、経済団体への要請活動を行っています。

計画における指標

高卒者の正社員求人割合 (%)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
94.9	②96.0	②96.5	達成【A】 (100%以上)	③96.3

正社員就職・正社員転換数 (人)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
12,112	39,600	29,267	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	52,800

- 正社員就職・正社員転換数〔累計〕は、コロナ禍が続く中、自動車・半導体関連産業を中心とした産業集積の進展により、製造業やサービス業などの産業において旺盛な求人の動きがみられるなど、正社員の有効求人倍率が全国平均を上回る回復傾向となっていますが、引き続き卸売業・小売業をはじめとした幅広い業種でコロナ禍前と比較して新規求人数が減少していたため、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

- ・ 就職氷河期世代等を対象に、オンラインも活用しつつ、セミナーや職場見学会、e-ラーニング講座等を実施することにより、企業とのマッチングによる非正規雇用労働者等の正社員就職等を促進します。

■雇用・労働環境の整備の促進 [再掲]

■子育てと仕事の両立を図る家庭への支援 [再掲]

■障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

・障がい者が地域において能力を發揮し、自立した生活ができるよう、障害者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所等を通じて就労先の確保や一般就労への移行及び就労後の職場定着を支援しています。

・第1次産業が盛んである本県の特徴を生かし、関係機関・団体との連携により、農福連携の取組を促進しています。

計画における指標

農業に取り組んでいる就労継続支援A型事業所の割合 (%)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
57	61	66	達成【A】 (100%以上)	63

■生涯を通じた健康づくりの推進

健康経営の取組の促進などにより、いきいきと働き続けるための健康づくりに取り組んでいます。

計画における指標

健康経営宣言事業所数（事業者）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
625	1,590	1,565	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,820

■結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

社会全体で結婚や子育てを支援する機運の醸成に向け、企業等による支援活動が促進されるよう、「いわて子育て応援の店」、「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充を進めています。

計画における指標

「いわて子育て応援の店」協賛店舗数（店舗）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,845	2,209	2,225	達成【A】 (100%以上)	2,300

■女性の活躍支援等

・女性の職業生活における活躍を推進するため、女性の職業能力開発や就業支援などを行うとともに、関係団体と緊密に連携し、情報共有や意見交換を行うなど業種を越えた活躍する女性のネットワークづくりを進めています。

・いわて女性活躍推進員の配置により、いわて女性活躍企業等認定制度を更に普及するなど、女性が活躍できる職場環境づくりを促進しています。

計画における指標

えるぼし認定企業・いわて女性活躍認定企業等数（社）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
15	314	362	達成【A】 (100%以上)	374

女性のエンパワーメント研修（ロールモデル提供事業）受講者数（オンラインを含む）（人）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②431	541	574	達成【A】 (100%以上)	651

経営者研修受講者数（オンラインを含む）（人）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②493	592	646	達成【A】 (100%以上)	692

施策項目 10 消費の促進等

【推進した施策】

- 県産品の販路の拡大への支援
- 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進
- 外国人観光客の誘客拡大
- いわて花巻空港を核とした交流人口の拡大
- 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進
- スポーツを活かした人的・経済的な交流の推進
- 県内事業者の海外展開への支援
- 質の高い旅行商品の開発・売込み
- 売れる観光地をつくる体制の整備促進
- 地域公共交通の利用促進
- 食の信頼向上の推進

【主な取組状況】

■県産品の販路の拡大への支援

- ・アンテナショップ（東京、大阪、福岡）において、店内外催事の拡充やオンラインを活用した販売・情報発信を推進しています。
- ・また、県内事業者の販路拡大のため、買うなら岩手のものバーチャル物産展や国内大手ECモールへの出店、自社ECサイトの立ち上げ支援などのオンライン販売への進出を支援しています。
- ・さらに、県産品の対面販売の機会を確保するため、アンテナショップ（東京、大阪、福岡）における新商品販売イベントの開催や、首都圏をはじめとする物産展の開催などにも取り組んでいます。

計画における指標

アンテナショップ（東京）の新規成約件数（オンライン商談等を含む）（件） [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②34	50	65	達成【A】 (100%以上)	75

アンテナショップ（東京、大阪、福岡）における県産品販売額（オンラインショップ、イベント販売等を含む）（百万円） [累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②450	450	535	達成【A】 (100%以上)	690

■県内事業者の海外展開への支援

- ・海外展開を支援する県内関係機関や海外事務所と連携しながら、戦略策定、商談、貿易実務等への一貫した支援や、専門家による個別相談、セミナー等の開催などにより、世界の市場に挑む県内事業者を支援しています。
- ・県内事業者の海外展開の意欲を更に高めながら、現地での商談会・展示会への出展やオンラインによる商談、バイヤー招聘等により、県産品の輸出拡大を図っています。
- ・これまでに構築した国内外のビジネスパートナーとのネットワークを活用し、取引の継続・拡大を目指します。

計画における指標

県産品輸出額（加工食品・工芸品）（百万円）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②469	470	786	達成【A】 (100%以上)	510

海外商談会等における出展企業数（オンライン商談を含む）（者）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②98	140	147	達成【A】 (100%以上)	200

海外商談会等における商談成約等件数（オンライン商談を含む）（件）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②58	70	72	達成【A】 (100%以上)	100

■「観光で稼ぐ」地域づくりの推進

- ・県、市町村、観光事業者、関係団体等と連携した観光キャンペーンなどによる誘客活動や情報発信に取り組んでいます。
- ・御所野遺跡をはじめ、工芸品、食文化、スノーコンテンツ、高原牧場、温泉等の観光コンテンツの磨き上げや、これを活かした北東北各県との連携による広域周遊ルートの構築などにより、北いわてへの誘客拡大を図っています。

計画における指標

観光消費額単価（日本人・県外・宿泊）」（千円）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②27.8	26.3	27.8	達成【A】 (100%以上)	36.0

観光消費額単価（外国人・宿泊）」（千円）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
44.4	48.8	—	—	49.9

- 観光消費額単価（外国人・宿泊）は、観光庁で実施している訪日外国人消費動向調査結果を県の観光統計の観光消費額単価に取り入れており、令和3年度においては、1-9月は、調査を中止しており、10-12月に関しては、主要4空港で調査を行ったのみであるため、実績を測定できませんでした。なお、令和3年度においては、宿泊施設の感染症対策に必要な設備の整備等に対する補助金を交付し、安心して観光できる受入態勢整備の支援を行ったほか、県内の宿泊施設を利用する県民等の宿泊代金の助成を実施することで旅行需要喚起を行うなど、観光産業を支援する取組を実施しました。また、地域主体で取り組む旅行商品の造成や磨き上げ、新しい旅のスタイルに対応する取組を支援しました。

三陸DMOセンターとの連携による、沿岸地域での観光コンテンツの新規商品化(件)
[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	17	24	達成【A】 (100%以上)	18

■質の高い旅行商品の開発・売込み

- ・3つの世界遺産や2つの国立公園など、本県の強みを生かした観光ルートの構築や「岩手ならではの」の魅力を体験できる高付加価値型の旅行商品造成を促進しています。
- ・高田松原津波復興祈念公園、東日本大震災津波伝承館、震災遺構、被災体験の語り部、三陸復興公園、みちのくしおかぜトレイル、三陸ジオパーク、三陸鉄道など、被災地域の固有のコンテンツを効果的に情報発信し、これらを活用した復興ツーリズムなどの促進を図っています。

計画における指標

宿泊者数(延べ人数・全施設)(万人泊)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②411.1	440.4	443.4	達成【A】 (100%以上)	628.1

観光消費額単価(日本人・県外・宿泊)(千円)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②27.8	26.3	27.8	達成【A】 (100%以上)	36.0

三陸DMOセンターと連携して、高付加価値型旅行商品向け観光コンテンツの企画を行うプランナー数(人)[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	22	29	達成【A】 (100%以上)	24

■外国人観光客の誘客拡大

- ・SNSなどを活用した情報発信により、海外の消費者に直接本県の魅力をPRするとともに、旅行会社へのプロモーションを展開し、東北への誘客拡大を本県への入込み、特に宿泊者数の増加につなげています。
- ・外国人個人旅行者(FIT)の誘客を図るため、無料公衆無線LAN、キャッシュレス決済などの情報通信技術(ICT)環境整備や、案内表示の多言語対応、施設のバリアフリー化などの受入環境整備を促進し、受入環境に関する情報を積極的に発信しています。

計画における指標

外国人宿泊者数(延べ人数・全施設)(万人泊)

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②8.8	1.3	1.8	達成【A】 (100%以上)	39.3

外国人観光客に向けて発信した情報へのアクセス数（万回）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②127	125	211	達成【A】 (100%以上)	125

外国人観光客等受入セミナー参加者数（人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②29	50	49	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	50

■売れる観光地をつくる体制の整備促進

- ・地域の観光産業を持続的に発展させていくため、マーケットインの視点を持ち、地域資源を磨き上げ、観光資源としてその価値を創造し、魅力的な観光地づくりにつなげていく観光産業をけん引する人材の育成を支援しています。
- ・宿泊・観光施設等におけるお客様の視点に立ったサービス向上を図るため、ホスピタリティ（おもてなしの心、接客スキルなど）を身に付けた人材の育成を支援しています。

計画における指標

三陸DMOセンターとの連携による、沿岸地域での観光コンテンツの新規商品化(件)
[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②16	17	24	達成【A】 (100%以上)	18

人材育成研修受講者数（人）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
297	900	819	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,200

■いわて花巻空港を核とした交流人口の拡大

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した国内5路線の航空需要の回復に向け、航空会社等と連携し、神戸線の認知度向上策や旅行商品の造成支援などによる利用促進に取り組んでいます。
- ・観光目的、ビジネス目的の両方の空港利用者のニーズを踏まえて、国内線の路線、便数の維持・拡充やダイヤ改善など、航空会社への継続的な働きかけ取り組んでいます。
- ・国際線の早期の運航再開に向け、新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見極めながら、航空会社や旅行会社に対する要請活動や情報交換に取り組んでいます。
- ・国や関係機関等から積極的に情報を収集するとともに、国際線の運航再開時に対応できる態勢の整備に向けて取り組んでいます。
- ・空港アクセスの改善など空港利用者の利便性向上に取り組んでいます。

計画における指標

いわて花巻空港の航空旅客数（千人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②142	159	206	達成【A】 (100%以上)	383
内訳	内訳	内訳		内訳
(国内)	(国内)	(国内)		(国内)
142	159	206		360
(国際)	(国際)	(国際)		(国際)
0	0	0		23

国内定期便の利用率（％）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②41.7	47.3	39.7	遅れ【D】 (60%未満)	52.9

- 国内定期便の利用率は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、断続的に緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の指定が行われたことから、年間を通じて出張や旅行等の航空需要の低迷が続き、利用率が伸びなかったため、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した国内5路線の航空需要の回復に向け、航空会社等と連携し、神戸線の認知度向上策や旅行商品の造成支援を強化するなど、国内線の利用促進に積極的に取り組みます。

国際線の運航回数（回）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②0	0	-	-	228

国際線の利用率（％）

H29 現状値	R3 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②0.0	0.0	-	-	60.0

- 国際線の運航回数や国際線の利用率は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う海外からの入国制限措置等が続き、国際線の全便が運休となったため、実績値は測定できませんでした。なお、令和3年度においては、運航再開に向けて関係機関との情報共有を図るとともに、就航先への観光情報の発信などに取り組みました。

■地域公共交通の利用促進

- ・県、沿線市町村等で構成される利用促進協議会などを通じて、マイレール意識を醸成するなど、モビリティ・マネジメントの活用により県民意識の変化を促しながら地元利用の促進を図っています。
- ・三陸防災復興プロジェクト 2019などを契機とし、三陸鉄道「リアス線」としての一貫運行のメリットや地域の観光資源を生かした企画列車の運行など、県内外からの誘客に向けた魅力ある商品造成及び情報発信の強化に対する支援を行いました。

計画における指標

I G Rいわて銀河鉄道の年間利用者数（万人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②436	433	433	達成【A】 (100%以上)	448

三陸鉄道の年間利用者数（万人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
52	64	61	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	77

- 三陸鉄道の年間利用者数は、鉄道利用の増加に向けて、企画列車の造成や地域住民の乗車機会を創出する取組を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等による団体利用の減少等が継続してしているほか、通勤・通学等の定期利用の需要が回復せず、達成度が【C】となりました。

<今後の方向>

県・沿線市町村等で構成している三陸鉄道強化促進協議会により、期間限定企画きっぷや三陸の地域資源を活かした企画列車の造成等、三陸鉄道の利用促進の取組に対する支援をします。

■民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進

民俗芸能など伝統文化を生かした交流人口の拡大を図るため、市町村や民俗芸能団体と連携し、本県が誇る民俗芸能の魅力を発信するなど、観光分野をはじめとした幅広い分野への活用を進めています。

計画における指標

観光客数（歴史・文化に係る観光地点での入込客数）（千人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②2,144	2,144	1,698	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	3,375

- 観光客数（歴史・文化に係る観光地点での入込客数）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国的な緊急事態宣言や岩手県独自の緊急事態宣言の発出により、移動や外出が自粛されたことから観光客数が減少し、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

多種多様な民俗芸能等の魅力をオンライン等で発信することで、県内外との交流の推進に取り組みます。

民族芸能イベント等を契機とした交流会等への参加団体数（オンラインを含む）（団体）〔累計〕

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②8	8	8	達成【A】 (100%以上)	16

■スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進

・スポーツによる交流人口の拡大を図るため、いわてスポーツコミッションを中心に様々なスポーツ大会・合宿等の誘致に取り組んでいます。特に、ラグビーワールドカップ2019 岩手・釜石開催の会場となった釜石鶴住居復興スタジアムにおいて、これまでの国内外とのつながりや三陸防災復興プロジェクト2019などのレガシーを継承し、スポーツイベントを展開しています。

計画における指標

スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数（人）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
130,000	267,000	314,224	達成【A】 (100%以上)	410,000

■食の信頼向上の推進

食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション(※1)を開催し、県民における食品の安全性についての県民の理解を促進し、安心感を醸成することにより、食の信頼向上を進めています。

また、HACCP(※2)制度化に向けて、食品業者に対するHACCPの普及と岩手版HACCP(※3)からの円滑な移行に取り組みました。

計画における指標

食の安全安心に関する講座型リスクコミュニケーション(※1)の延べ受講者数（人）[累計]

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③090	152	152	達成【A】 (100%以上)	252

HACCP(※2)導入に関する講習会の受講者数（人）

H29 現状値	R3 目標値	R3 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,347	12,600	13,165	達成【A】 (100%以上)	16,900

※1 リスクコミュニケーション

社会を取り巻くリスクに関する正確な情報を、行政、専門家、企業、市民などの利害関係者である関係主体間で共有し、相互に意思疎通を図ること。

※2 HACCP

「Hazard Analysis and Critical Control Point」の頭文字の略語で「危害分析重要管理点」ともいい、食中毒等の食品に起因する事故の発生を未然に防止するため、食品の製造における危害を分析し、重要な工程を連続的に管理することによって、一つ一つの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のひとつである。

※3 岩手版HACCP

HACCP本来の手法の導入が難しい小規模施設等であっても、HACCPの考え方に基づく衛生管理に取り組んでもらえるよう、それぞれの業態に合った、温度管理を中心とする重要管理点（1～5項目）を県があらかじめ示し、定期的な温度等の確認と結果の記録を行うなどの衛生管理を実践することにより、HACCPの考え方の普及を図る本県の取組。なお、県では、平成12年度から「HACCPシステム導入促進事業」を実施し、「岩手版HACCP」の導入を促進している。